保健室

森町立飯田小学校

養護教諭　成岡　彩乃

森町は、重要無形文化財である舞楽や遠州森の祭りなどの伝統が息づく町です。また、町の中央を流れる太田川と町を囲む山々が織りなす景色から、「遠州の小京都」と呼ばれるほど、風情豊かな町でもあります。そんな森町にある本校も川や田畑に囲まれ、自然豊かな環境のもと、全8学級、219名の児童が、学校生活を送っています。特徴としては、課外活動の１つにマーチングバンドがあり、学校行事だけでなく、地域活動にも参加しています。地域が学校に寄せる関心も高く、地域参加型学校行事や地域の教育力の活用など、地域に根ざした学校づくりが行われています。また、森町が行っている幼小中一貫教育においても地域の力は欠かせないものとなっています。

本校の児童は、人なつこく、素直で、困った人には手をさしのべられる優しい子どもたちです。しかし、正しいと分かっていながらも行動に移せないという一面もあります。自己の健康についても、生活習慣が身に付いていない、それに対しての問題意識はあっても実践に移せないなどの課題があります。

学校教育目標「夢に向かってはばたく『飯田っ子』の育成」の実現に向け、保健室でも、子どもたちが自己の健康に目を向け、よりよい健康習慣を身に付けられるよう取り組んでいます。触れたり、遊んだりできる「魅せる掲示物」の作成や「ほけんだより」を活用したミニ保健指導の実施、歯みがきカレンダーや生活チェックカードでの生活習慣の振り返りや意識付けを行っています。また本校区では、幼小中一貫教育の一環として、校区合同学校保健委員会を開催しています。園・校の職員や保護者、地域の方々や森町の高等学校の生徒保健委員会が参加する地域を巻き込んだ保健行事です。「食」をテーマに4年間活動した結果、朝食摂取率の増加や孤食の割合が低下するなどの成果を得ることができました。

「今日の保健の話、面白かったよ」「先生、また遊べる掲示作ってね」、子どもたちからこのような声が聞かれたときは、子どもたちの興味をくすぐることができたかなと、うれしくなります。私の行っている活動は小さなことです。その小さなことでも、子どもたちが夢に向かって、生き生きと健やかに成長できるようにと、願いを込めて取り組んでいます。これからも、子どもたちが健康意識を高め、よりよい健康生活を送ることができるよう、養護教諭として努力していきたいと思います。

浜松市立富塚中学校

養護教諭　伊藤　麻衣

富塚中学校は、浜松市の中心部に位置し、周囲に住宅やマンションが多い一方、近くには佐鳴湖があり自然にも恵まれた場所にあります。真面目で素直な生徒が多く、体育大会や文化発表会などの学校行事には自主的に練習を行い、目標に向かって一生懸命取り組みます。文教地区のため学習面に熱心な保護者も多く、夜遅くまで塾や習い事をしている生徒が多くいます。そのため、睡眠時間が短くなったり、食生活が乱れたりといった生活習慣に課題が見受けられます。

本校では、毎年11月に自分の健康を考えるため、学校保健委員会として「ヘルスプロモーション・フェスタ」を行っています。そのときの生徒の実態や健康問題に応じてテーマを決め、事前に実施するアンケートを基に、生徒自身が自分の生活や健康を振り返ります。

昨年は、『メディアと健康』をテーマに、メディア機器を使い続けることによって心身にどのような影響がでるのか、メディアの使いすぎを防ぐためにはどのような取り組みをしたら良いのか等を学習しました。その後、自分自身のメディアの使い方を振り返り、自分で決めたルールを生活内で実践するため「アウトメディアにチャレンジ」を家庭で実施しました。時間を区切ってメディアを使用したり、家庭学習を終えてからメディアを使用したりと、ルールを自分で決めたことにより、自分の生活にあった方法でメディアの使いすぎを防ぐことができました。また、メディアを使わなかった時間を、睡眠や食事の時間にまわすことで、自分の生活習慣を改善できた生徒もいました。他にも、家族とのふれあいの時間や会話が増えたという意見も生徒から出て、メディアの使い方を考えることができたという意見もありました。

日常の学校生活では、保体委員会が中心となり学級内での健康観察や清潔点検の調査活動、季節に応じて熱中症や感染症予防対策の活動を行っています。感染症予防の活動では、校内ポスターの作成、感染症予防の呼びかけを行っています。呼びかけをする際には、メインとなる呼びかけ内容を決め、「換気」が習慣付いたら、次の呼びかけ内容を「マスク着用」にするなど、一つ一つが習慣になるようにステップを踏んで呼びかけを行っています。

今後も、生徒が自分の生活や健康上の問題に気付き、自分自身で生活改善ができるよう自己管理能力の向上につながる指導に努めていきたいと思います。

げんきな事業所

株式会社アース　でらいと島田

（島田市東町183番地）

施設長　岸　謙治

株式会社アース「でらいと島田」は島田市と藤枝市の境である東町に位置し、近くには大型スーパーやドラッグストアも有り買い物には非常に便利な場所です。

さて、でらいと島田の母体でもあります株式会社アースは、平成16年5月に高齢化社会の到来を鑑み、介護事業を営むことを目的に「有限会社アース」を静岡市葵区に設立いたしました。平成17年11月には藤枝駅前に「あーす介護ショップ」を設置し、福祉用具貸与・介護用品販売・住宅改修サービスを開始したのが今のアースの原動力になっております。ますます加速する高齢化社会に伴い老々介護や孤独死の問題に少しでも貢献できればと、平成18年にはデイサービスを開設し、その後、平成24年11月に志太地区でも大型の施設となる介護付有料老人ホームでらいと島田を開設致しました。現在富士宮市から島田市までさまざまな介護事業を約30事業所運営しております。

でらいと島田のサービスの種類は「特定施設入居者生活介護」と言われ、自立支援から介護度5までのお客様が生活されております。ご利用者様が可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、食事や入浴そして排泄などの日常生活上の支援の他、健康管理や機能訓練などを提供させて頂いております。

私たち株式会社アースの介護理念は〝「介護」ではなく「快互」を目指します〟と掲げております。

それは「大切な人、また、その御家族が、互いに快い時を過ごしていただけるよう専門職としての誇りと責任を持ち、お一人おひとりのニーズに応じた質の高いケアを提供し続ける」ことをお約束しています。

でらいと島田の目指すものは、この施設に「本当に来てよかった」と言ってもらえる施設になることです。〝お客様の笑顔を見たい、もっともっと元気になってもらいたい、安心して過ごして頂きたい〟の一心で職員は生活支援をさせて頂いております。また、職員も同様に「来て良かった（この施設で働いてよかった）」と心から言ってもらえるよう常に意識して施設運営に取り組んでおります。

職員に元気で楽しく仕事をして頂きたいと、弊社では定期的に「ストレス度アンケート」を取り不満や意見を表面化させ問題解決に向け検討をしたり、体調がすぐれない職員には産業医の先生に個人面談を受けられる環境を設けております。

その他、福利厚生の充実を図ったり、職員が病気に罹らないよう予防接種を指導したりしております。また、介護のスキルアップをしたい方には外部研修の資金援助の制度を設けたりもしております。因みにこの3月より新しい教育制度の取り組みとして弊社独自で行う「介護職員初任者研修事業」を立ち上げます。これから介護を目指す方や現在既に入職している無資格者の介護職に対して今一度、必要な知識や技術を習得してもらい、質の高い介護職の育成を行っていきます。

今後も私たちは以下の3つを約束します。

私たちアースの約束

私たちアースは"本物"の福祉・農・食に取り組んでいる世界一の感動発信企業を目指しています。

私たちアースは社員全員が夢と希望の可能性にあふれたワクワクチャレンジャーであり、日本一「人が育つ」会社を目指しています。

私たちアースは地域の皆様から愛され、「笑顔になっちゃう」ところです。"快互"を大切にする「心が癒える"心"」がある会社を目指しています。

Earth

2050年の超高齢化社会にむけて私たちは走り続けます。

最後に、このような機会を設けて頂きました静岡県予防医学協会様には深く感謝しますと同時に今後も定期健康診断および予防接種の実施を宜しくお願い致します。

弊社の事業の詳細につきましてはホームページをご参照いただけると幸いです。

http://www.earth-group.co.jp/